



ともしび財団は 設立20周年

やさいに
ありがとう

「(公財) コープともしびボランティア振興財団」は阪神・淡路大震災を契機に広がったボランティア活動が地域に根付くことを願い、1996年2月にコープこうべによって設立。
コープこうべ組合員・職員、市民の皆様、企業からの賛助会費、寄付・募金をボランティア資源に換え、お互いに助け合える地域社会づくりに生かしています。

設立以来4,802グループに2億1,020万8,141円を助成

あなたの“想い”を寄付に 資金で支えるのもボランティア

コープのサービス
コーナーでも
寄付ができます

店舗でできる募金

賛助会費 個人 1口 1,000円～/年

寄付 おいくらでも結構です

コープこうべ店舗のサービスコーナーで年間を通じて、**賛助会員**や**寄付**を受け付けています。

賛助会員の声

毎年、財団に寄付しています。ひとりの力は小さくて何もできないけれど、その小さな力を束ねて必要とされているところに持っていくことができるのがともしび財団だと思っています。

のりこ よしこ 賛助会員 則藤 譲子さん



古本でできる募金

古本(5冊以上)を箱に詰めて「古本買取業者 きしゃぼん」に連絡すれば、宅配業者が自宅まで無料で引き取りに来ます。「きしゃぼん」による査定額が財団への寄付になります。(買取できない本もあります)

問い合わせ「きしゃぼん」
Tel.0120-29-7000
■営業時間 9:00～18:00

ともしび財団 きしゃぼん 検索



メッセージ

家で眠っていた本たちです。この活動を知って参加させていただきました。是の長い支援を続けてほしいと思います。

引っ越しのため本を手放すことになりました。役立てていただけたらうれしいです。

やさしさに ありがとう ひょうご プロジェクト

地域課題や困りごとを新しいしくみで解決! 地元企業7社とともしび財団がコラボ

当プロジェクトは思いを同じくする地元企業の皆様から寄付によるご支援をいただき、その寄付金を「新たな社会的課題の解決に取り組む団体」への助成金として活用し、私たちの「ひょうご」をより良く変えていくことをめざしています。

店舗をご利用の皆様へ

新しいことを考えたり挑戦したりする人は社会にとって、とても大事な人です。新しいことをする人やグループがいて、その積み重ねがあるからこそ私たちは進歩できるのです。
また新しいことをする人を応援する人やグループも大切です。
人はひとりでは生きていけません。多くの人のネットワークの中で、支えられてこそ力が発揮できるのです。
ともしびボランティア振興財団はいつも新しいことを考えています。それは新しいことを企画し実践するグループの心情に少しでも近づき、理解し、できれば同じ方向を見つめていきたいと願うからです。さあ、みなさん、まぶしいあしたに向かって一緒に歩みだしましょう。

コープこうべ理事長、(公財)コープともしびボランティア振興財団理事長
山口 一史



西宮市 伊藤ハム

社会的課題の解決の輪が広がるように。

阪神淡路大震災後、20年にわたり、「コープともしび財団」が支援されてこられた節目の年のこの新しい支援に、西宮市の企業として弊社が参画できることを誇りに思います。この取り組みが定着し、新たな社会的課題の解決の輪が広がることに繋がれば幸いです。

西宮市 加藤産業

ボランティア活動の輪が広がるように。

おかげ様で加藤産業は地元兵庫・西宮で創立70周年を迎えることができました。より良い地域社会づくりに向け、ボランティア活動の輪が広がるように、日々新しい事にチャレンジされている「コープともしび財団」を応援します。

新しい
プロジェクトが
スタートするよ!



コープこうべ
キャラクター
「コービー」



やさいに
ありがとう



あなたの
募金が地域の
ボランティアを
支えます

財団の助成を受けて活動する グループを紹介します

みんなの居場所 『舞子坂ふーみん』

ここ来るとみんなの 笑顔に会える。

ここはふーみん。こと藤田富美(ふみ)さんが、30年以上お住まいだったお宅。一人で食事をする高齢の方が気になって「何かできることが、あるかも」と、藤田さんのお宅を利用して、4人の女性有志が活動を開始したのが2015年10月のこと。ご近所でお馴染みという安心感から、立ち上げわずか1年でのべ1200人以上の方が訪れるという人気ぶりです。

主な活動の一つが、おいしいランチの提供。毎週火・土曜に料理上手の大川さんが腕ふるいます。6歳の女の子と一緒にのお母さんは「子連れだと気を使



舞子坂ふーみん(写真上の左から)
小原 幸子さん、藤田 富美さん、
大川 五美さん
豊岡 いづみさん(写真内)

うことが多いけど、ここは優しく受け入れてくれる。料理や子育ての相談もできますし」と、ゆったりとした時間を過ごされていました。食事の提供だけでなく、高齢の方の買い物やゴミ出しのお手伝いなど、生活上のちょっとした困り事の解決にも取り組んでいます。これからも地域の心地よい居場所として、2年目の「ふーみん」の発展が楽しみです。

『神戸・灘 おもちゃの病院』

子どもたちの 喜ぶ顔が活動の原動力

壊れてしまったり、動かなくなったりした大切なおもちゃをボランティアで治している「神戸・灘 おもちゃの病院」。

ブラレールやラジコン、おもちゃのピアノ、しゃべるぬいぐるみ...等、大切なおもちゃを抱えて親子連れがおもちゃの病院にやってきます。小さな子どもの真剣なまなざしに、「ぜったい治すぞ!」と意気込むおもちゃドクター(ボランティア)。大切なおもちゃを目の前で直すことで、ものを大切にする心が育ちます。



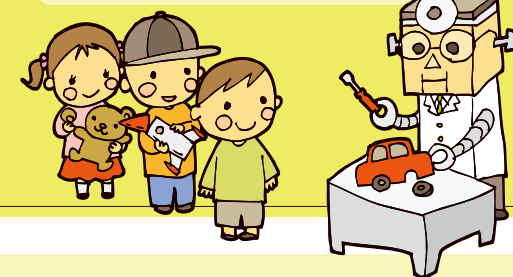
「神戸・灘 おもちゃの病院」
代表・加藤正博さん

また、シルバー世代のおもちゃドクターと子育て世代の交流を図ることもつながっています。

主な開催場所(2017年2月現在)

※初診料、実費必要。ゲーム機不可。

- ハーバーランドumieおもちゃ病院
毎月第3木曜日 10:00～14:00
- 東灘子どもカフェおもちゃ病院
毎月最終日曜日 13:30～15:00
- あーちおもちゃ病院
毎月第4土曜日 13:30～15:00
- ブルメール舞多間おもちゃ病院
毎月第2火曜日 10:00～14:00
- 浜甲子園おもちゃ病院(浜甲子園教会)
毎月第3日曜日 13:00～14:00



神戸市東灘区 東洋ナッツ食品

地域住民の皆様にご恩返しを。

21年前の震災後、弊社の今日があるのも、組合員様を始め、地域住民の皆様のおかげで支えがあったからこそ。小規模でも地域に根ざしたボランティア活動一つひとつに光を当て、助成しておられる「コープともしび財団」を通じて少しでもご恩返しできればと思います。

神戸市中央区 UCC上島珈琲

地元応援の橋渡しに賛同。

「コープともしび財団」の地域に密着しながら兵庫県内のボランティアグループの活動に広く目を配られている姿は、他地域のボランティア活動の見本となる取り組みであると思います。これからも、地元応援の橋渡しをよろしくお願いいたします。

神戸市中央区 フジッコ

新しい支えあいのしくみづくりの一助に。

このたび、「コープともしび財団」の趣旨に賛同し、地元企業として参画させていただきました。阪神淡路大震災から21年、本参画を通じて当時のボランティア精神を継承し、新しい支えあいのしくみづくりのご推進の一助となれば幸いです。

神戸市中央区 六甲バター

未来づくりを地元どうし助け合って

「QBBチーズ」でおなじみの六甲バターです。健康で明るく楽しい食文化を提供する地元神戸の企業として、「コープともしび財団」の活動に共感し、応援させていただきたいです。皆で助け合い、明るい未来を創造していきましょう。